



発行日：平成28年8月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第32回川部会WGを開催しました！

7月8日（金曜日）に第32回川部会WGがとよた市民活動センター会議室にて開催されました。今回のWGでは、昨年度の活動の報告と今年度の活動の進め方について、意見交換を行いました。

日時：平成28年7月8日（金）18:30～21:00

会議場所：とよた市民活動センター会議室

参加者：26名（事務局含む）



### ◆主な意見交換内容

#### 1.本日の話し合いで決まったこと



##### ■今後の活動方針

- 矢作川のあるべき姿に関する取り組みについては、検討中の事項についても記録を残していきます。
- 保全エリアマップについては、河川環境基図や豊田市矢作川河川環境活性化プラン、過年度の河川縦断区分をベースとして話し合いを進めていきます。
- 家下川湛水防除事業の最終計画については、9月以降に周知、意見交換を行います。
- 地先モデルの方向性については、今後意見交換をします。
- 流域連携については、山川海の各WGの中で議論を進めていきます。

##### ■今後のスケジュール

- 8月：豊田市矢作川河川環境活性化プランの説明および現地見学
- 9月：加茂川における魚道設置方法についての意見交換および現地見学
- 9月10日（土曜日）に矢作川感謝祭が開催されることになりました。川部会の皆様もぜひご参加ください。



#### 2.情報提供

##### ■平成28年度矢作川直轄河川事業計画について

洪水被害を防止・軽減する治水対策として、平成28年度は以下の整備を進めます。

矢作古川分派施設関連工事を推進するとともに、堤防高や堤防断面が不足する区間の築堤を実施します。また、上流域の河川断面が不足している箇所において、河道掘削工事を実施します。

- 1) 水防災意識社会構築ビジョン
- 2) 西尾市志貴野地区の矢作古川分派施設関連工事
- 3) 安城市小川地区及び岡崎市合歓木地区の築堤工事
- 4) 豊田市白浜地区における河道掘削工事

##### ■矢作川総合土砂管理計画検討のための土砂供給実験の実施

- 今年度は洪水時にベルトコンベアーを用いた土砂供給実験を行います。
- 矢作ダムの堆積土砂は石が多く混入しているため、まずは本年度の河道掘削工事により発生した土砂を使用します。
- 実験状況の報告や検討内容についてはWGのなかで議論していきます。

### 3.意見交換



●出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

(・意見 ▶回答)

#### (1) 今後の活動方針について

- ・矢作川のあるべき姿に関する、意見交換の内容は、毎年の成果に記録として残るのか、話し合いの中で終わってしまうのか。(浅田)
  - ▶ 現状では話し合いの中で終わってしまっているものもある。全体の合意がとれていないものは括弧書きで記録に残しておいてもらったほうがよい。(内田)
- ・6年間の成果が可視化できていないというのが現状である。GIS等を用いた情報のインフラをつくり検討成果を継承していく必要がある。(鷺見)
- ・矢作川のあるべき姿の検討成果として、図表や写真などを用いて視覚的にわかりやすい成果としていくと良いと思う。(光岡)
- ・今年度の目標については、何のために行うのかを整理して、議論の中で目標を書きかえていくといいのではないかと。(内田)
- ・保全エリアマップを作成し流域圏全体に展開すると書かれているが、これは不可能ではないか。あくまでモデルとして示すことができるということだと思ふ。(鷺見)

#### (2) 流域連携について

- ・「砂の駅」の場所を考えるとしたら、イメージしやすいのは本川沿いだと思う。(内田)
  - ▶ 本川は大きく、なかなか難しい。本川でなくても例えば支川のアーマー化しているところを耕してみるとか、耕した後の土を入れてみるということもあると思う。今後議論していきたい。(事務局)

#### (3) 情報提供

- ・今年度の竹林伐開が実施されたが、次に洪水が来たときに久澄橋の瀬が完全になくなってしまわないかと危惧している。(新見)
- ・河道掘削が低水路にどう影響を及ぼすかという予測はされているのか。(内田)
- ・堤外地の掘削による治水の観点から見た影響はどうか。(本守)
  - ▶ 河道掘削に伴う影響予測は現状では行っていない。今後どのような影響がでてくるのか予想し、平水位以下に影響を与えないように掘削をしていく方針である。(事務局)
- ・ダムの中に有機物が堆積している事実があるが、いつも砂の影響のみが議論の対象となっているので有機物の影響についても検討してほしい。少なくとも現在どのようなデータがあるのか知りたい。(井上)
- ・アーマー化を直す方向にうまく何とかやれないものか。(新見)
  - ▶ アーマー化の問題は総合土砂管理計画検討における一つの課題として考えている。(事務局)

#### (4) 振り返り

**よかったと思うこと：**山・川・海の連携の第一歩になったように思えたこと。/矢作川漁業協同組合が来てくれたこと。/川部会に25名もの参加者がいて、素晴らしい多様性だと思う。/検討のテーマが再確認できた。

**よくなかったと思うこと：**目標の一つである「矢作川としてあるべき姿を描く」と昨年目標にあるが、それがどこに記録されて残っているのか分からない。/活動目標の具体的議論ができなかった。参加者の役割が依然としてはっきりしない。特に行政メンバーは役割が明確でないとメンバー選定にも困ると思う。/時間が少ない。

**来年度、取り組んでいきたい活動など：**連携テーマがごみ・流木、土砂、木づかいと目に見えることに限られているので、目に見えないケイ酸の物質収支に着目していきたい。/矢作川のなかの生物多様性について取り組みたい。/流域ものさしに関するイベントの利用。

### 今後の流域圏懇談会の予定



■第33回川部会 WG 日時：平成28年8月5日(金) 14:30~17:00  
内容：矢作川河川環境活性化プランの説明



#### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森、技官 宇野  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijnet.or.jp) までお送りください。

